

同志社女子大学 日本語日本文学

第十九号

目次

- イニシへとムカシの違い……………吉野政治(1)
——古今集を中心とする考察——
- イリアヒ考……………小林賢章(19)
- 万葉集の相聞歌と声の歌……………寺川真知夫(33)
- 『源氏物語』「らうたげ」の再検討……………伊集院玲奈(55)
——光源氏の視点から——
吉海直人
- 『ならめいしょゑづ』の版種について……………吉海直人(69)
——解題と影印——
- 臨川寺蔵文久三年版……………飯塚ひろみ(101)
「寢覚浦島太郎畧縁記」の解題と翻刻
芝万智
吉海直人
- 志賀直哉年譜考(二)……………生井知子(119)
——明治十六年から明治二十六年まで——
- 志賀直哉全集逸文紹介……………生井知子(139)
-
- 書評……………土取綾(151)
児玉実英・杉野徹・安森敏隆[編]
『二〇世紀女性文学を学ぶ人のために』
- 書評……………坂口真季子(157)
NHK福祉ネットワーク制作班編「介護百人一首」
——〈いのち〉の叫び——
-
- 彙報・執筆者紹介……………(163)
-
- 現代語における「～か」のある種の用法について……………服部匡(1)
(補遺)
- 日本語日本文学科の授業改革の為に……………生井知子(11)
——同志社女子大学における
石本興司
「身体表現ワークショップ」の実践報告——

同志社女子大学

日本語日本文学会